

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表： 令和4年11月30日

事業所名 こばんはうす八幡西割子川教室

保護者等数（児童数）22 回収数18 割合 82%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1		1	・自分の子供も含めて体が大きくなっていくので狭く感じないか心配	・利用児童数に対しての活動スペースは十分ですが、相談室なども使用しその日の活動に合わせて対応させていただきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1		1	・理学療法士がいて専門的に見てくれる機会が増えているようです。 員の方も多く配置されているように感じます。	・職 ・基本的には保育士か児童指導員の資格を保有しており、おおむね児童2～3人に1人ほど職員を配置しております。また理学療法士の職員もおり専門的な観点からの対応もしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17			1	・通わせる上で危険と感じるところなどありません 壇が少し大きく地面より高いので気になります。	・花 ・児童の特徴に合わせて支援しています。玄関の段差では児童と手をつなぎ怪我の内容に対応しています。
適切 な支 援の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 放課後等サービス計画が作成されているか	17	1			・活動の中でも子供の特徴に合わせて対応していただいています。 供の課題に寄り添って計画書が作られていると思います。	・子 ・今後も十分な職員数を確保し児童に合わせて活動支援できればと思います。 ・課 題に関しては適宜見直し行い職員が共通して支援できるように話し合っています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	2		2	・様々なプログラムがあって子供も満足しています。 出することも多く普段家族で出来ないことをしていただけるのは嬉しいです。	・外 ・プログラムは一緒でも内容を変えたりして対応しています。 ・外 出する際は感染予防に努める事とその場での社会的ルールも学んでまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障害のない子どもと活動する機会があるか	13	1	1	3	・感染症が収まれば機会を設けてほしいです。 じ系列の教室があるようで一緒に活動することもあるようです。	・同 ・コロナウイルスは流行している中で感染に気を付けながら徐々に交流を増やしていければと思います。
保護 者へ の説 明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					・引き続き変更があった際などにもご説明をさせていただきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			2	・直接話す機会もあり安心して通うことが出来ています。	・日々連携を図りながら情報伝達行い対応してまいります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	1	・児童発達支援管理責任者の方が電話してくださったりしてくれます。	・毎月直接もしくは電話やメールなどを行い保護者様の意見を聴いていきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により 保護者同士の連携が支援されているか	2	5	2	9		・現在の感染症が流行っている状況では行うことが難しいですが、今後状況が改善すれば行っていくことを検討しています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、 子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16			2	・相談したことに對してすぐに対応してくれています。	・今後も迅速に社内情報伝達を行い、すぐにご家庭に対して何かしらの返答をすることで不安に感じられることのないよう、安心してお預かりできるよう取り組んでまいります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2		1		今後も、情報の正確な伝達とより良い支援の両立を目指して変更があった際にはご説明をさせていただきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16			2	・ブログの更新が多くなくて嬉しいです。 ・自分の子供は顔を隠してもらっているので安心していきます。	・様々な意見があると思いますが、児童、家庭のプライバシーを守りつつ対応できればと思います。 ブログの更新頻度などは今後検討していきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17			1		・個人情報には鍵付き書庫に保管、教室内外からは見えないようにしています。
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、 保護者に周知・説明されているか	15	1		2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		1	・毎月プログラムに入っており、子供も当日の様子を話してくれました。	・様々な場面を想定し行っています。近くの公園へ逃げるルートも想定して活動しています。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1			・いろいろな活動をして下さって楽しそうに過ごしています。	・今後も児童の成長に合わせて様々な活動を検討していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1		1	・利用時間の変更にも臨機応変に対応していただけます。 曜日祝日に利用できてうれしいです。	・日 ・出来る範囲でご家族様の要望には対応させていただきます。今後も継続して迅速な対応してまいります。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業者における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和4年11月30日

事業所名：こぼんはうすくら八幡西割子川教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1		国の設備基準を上回る児童一人当たり3m ² 以上かつ死角のない指導員の目が届く1つの空間で集団療育を行えるスペースはあると思います。欲を言えば不穩になった際に落ち着いていただく部屋があると良いと考えております。
	② 職員の配置数は適切である	10			児童10人に対し指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行い、加配人員もいます。理学療法士などの専門職を複数名配置できています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			道具の収納や来所から身支度の導線などは児童がわかりやすいように写真等で視覚支援を行っています。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃるが、入口の階段は2段あるのでそこは職員が手をしっかりとついで登るようにしています。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	5		月に1度の会議と、年間で2回の全体会議を行う予定です。職員の能力向上に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			アンケート結果を受け止めて、保護者様の意見も参考にして対応していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			前回の結果を職員間で話、事業所のホームページで公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	5	今後も第三者評価を行っていただけるように働きかける方針です。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			研修や本部からスーパーバイザーの派遣等により機会を確保しているが、もっと頻度を上げて（週一回程度）取り組んでいきたい。パソコンなどを利用し職員がいつでも研修動画を確認できるシステムにしています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			ご契約前の見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また外部機関で記録された発達検査の結果等を保護者様より共有いただくことで発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			月に一度、2ヶ月先のプログラムについて会議の場を設けています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			基本的に連日同じ活動にならないように、同じ曜日で固定せずに様々な活動を行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2		休日はグループ分けをして児童に適した課題に取り組むこともしています。また退出する活動なども行い様々な環境や文化に触れることも検討し支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			児童の発達段階に応じて、個別の課題と社会性等の集団行動について作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			朝礼での確認はもちろん、役割分担することで1日の支援について支援での職員配置など細かく話しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		終礼の時間を設けており、児童の様子はもちろん、職員間での連携や業務内容についての振り返りを行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			記録についてはなるべくパソコンにデータ化することで職員が確認しやすくしています。また突発的な内容については手書きにて記録しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			かかっている職員からの情報収集は常に行い、最低でも半年に一回は見直しを行っています。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	10			生活動作や集団行動だけでなく、児童にとって憩いの場でもあるよう心掛けて支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2		開催される場合には、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者・指導員が参加しています。学校に行き会議への参加も行っていきます。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10			必要に応じて連携をしながらご家庭のサポートを行っています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	3		*現在該当児童の在籍はありません。*必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		児童によっては児童発達支援から放課後等デイサービスへの持ちあがりの子もいますので保育所等の情報交換でなるべく同じ方向性の支援を行い情報共有しています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			10	現時点で対象となる児童がいないため行っていません。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			10	センターやセンターに属する相談事業所などの情報共有を行うことがありますが、研修などには至れておらず今後積極的に情報収集に動きたいと思います。またZOOMなどでの研修体制を整えたので今後感染予防の観点から遠隔での研修参加をひたすら行っていきたく思います。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			10	感染予防の観点から行っていません、今後も状況次第では交流も検討します。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している			10	感染予防の観点から行っていません、今後も状況次第では交流も検討します。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2		必要と判断すれば時間を設け、直接話を市に職員が行っています。基本は送迎時やお電話等で情報共有や情報収集を行うようにしております。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			10	感染予防の観点から行っていません、今後は状況に合わせて実施の方検討していきます。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			日ごろから電話や送迎時に話す時間を設けています。内容を職員間で共有し支援方法について会議しています。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			10	コロナウイルスの関係で行い予定でしたが行えていません、ウイルスの終息を確認してからの開催の検討いたします。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	4		毎月1回以上のブログ更新を予定し実行しています。必要な時は連絡帳にお手紙を入れています。
	㉟ 個人情報に十分注意している	10			個人情報については契約時に書面で同意をいただいております、個人ファイルについては鍵付きの書庫に保管をしています。
非常時等の対応	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			視覚支援を中心にを行い児童に情報が伝達しやすくなるよう対応しています、様々な場面の絵を用意し聴覚と視覚での情報伝達を行っています。
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			10	コロナウイルスの流行で地域住民を招待するようなイベントは取り止めておらず、今後は地域の福祉施設を中心に交流を深めたいと考えています。
	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	5		マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っておりますが、周知・訓練や保護者への周知について十分でない部分もあり、改善に努めます。マニュアルについても定期的に直していきます。
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	3		活動プログラムで様々な場面を想定し行っています。避難経路も定期的に確認しています。
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2		社内研修を行い、防止に取り組んでおりますが、外部研修なども必要に応じて参加していきたくと考えています。
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			身体拘束に関しては、『利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。』という内容を契約時に書面に説明をさせていただいております。※現時点で必要な児童の在籍はありません。
非常時等の対応	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			毎日のお菓子の提供や給食の弁当、イベントにおいてもアレルギーは食品保管場所に児童ごとに明記し対応を徹底しています。
	㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3		全職員が月に1枚以上の作成を行える体制を整えています。